

令和6年度 岡山県立笠岡高等学校 学校経営の具体的計画

本年度の 重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための 課・年次での重点目標 (めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・ 年次内での具体的方策 (教育活動)	評価基準
1 可能性 を引き出 す個別最 適な学び の促進	教務課	少人数・習熟度別授業と3つの学びの コース別授業を中心に個別最適な学びを 実現し、学力向上を図る。	少人数・習熟度別授業や3年次は3つの 学びのコースごとの授業を、教科と連携 して効果的なものになるよう運用面で工 夫していく。学力向上委員会と連携して 授業改善についての研究を進める。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「選択希望や進路志望、習熟度等で講座を分けた授業 は、あなたの知識の深まりや成績向上につながっていると思っ ていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(R5 92%、R4 89%、R3 90%) 4:90%以上、3:85%以上、2:80%以上、1:80%未満
	教務課	ICTの積極的活用を通して興味関心を広 げ、生徒個々の学びが深化できるような 支援を行う。	教科等と連携してICTを利活用できる環 境を整え、主体的・創造的な学びを支援 する。また、学習面におけるiPadの効果 的な活用についての研究を行う。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「笠岡高校のICTを利活用した学習は、あなたの興味関 心を深める、または、学習内容の理解を助けるものとなっている と思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(R5 88%、R4 77%、R3 80%) 4:90%以上 3:85%以上 2:75%以上 1:75%未満
2 夢と志 を育むキャ リア教育の 深化	進路課	ACTを中心としたカリキュラムマネジメ ントを推進し、未来開拓力を育む。	ACTプログラムでの学びと教科や特別活 動での学びとの往還を意識した教育活動 が展開できるよう、校内外での生徒の学 びの機会の充実を図る。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「笠岡高校は、「総合的な探究の時間(ACT)」などを利用し て、将来の進路や生き方について、考えを深め、主体的に進路 選択ができるように、計画的に指導ができていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(R5 82%、R4 79%、R3 79%) 4:85%以上、3:80%以上、2:70%以上、1:70%未満
	進路課	キャリアカウンセリングを充実させ、個性 と可能性を伸ばす進路指導を推進する。	生徒一人一人に応じたキャリアカウンセ リングが効果的に行えるようにカウンセ リングシステムを工夫・改善する。	学校自己評価アンケートで評価 (生徒)「笠岡高校は、面談などを利用して一人ひとりの生徒に応 じた進路指導を行っていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(R5 94%、R4 89%、R3 91%) 4:90%以上、3:85%以上、2:80%以上、1:80%未満
3 主体性 と豊かなつ ながりを生 み出す活 動の充実	総務課	生徒が主体的に広報活動に参画できる 機会を設けるとともに、生徒目線の広報 活動を推進する。	学校の魅力発信の機会を充実させ、広報 活動の企画や運営において生徒が主体 的に活躍できる場を設ける。	広報活動において生徒が参画した事業数で評価。 (R5 8件、R4 6件) 4:9件以上 3:8件 2:7件 1:6件以下
	教務課	国際社会で活躍できる人材の育成につ ながるグローバルな視点を育むための国 際交流活動を推進する。	関係機関と連携してオンラインでの交流 活動が可能な「姉妹校」または「交流校」 の設定に向けて検討を行う。	年度内における、国際オンライン交流の企画立案および実施回 数で評価。 4:オンライン交流を2回以上実施、3:オンライン交流を1回実 施、2:来年度の実施に目途、1:来年度の実施も不透明
	生徒課	ホームルーム活動や生徒会活動(各種 委員会や学校行事等)への生徒の主体 的な参加を促す。	各学校行事の実行委員を募り、生徒会執 行部中心に組織化するとともに、多くの 委員会や部が主体的に活動に取り組め る体制を整える。また、事前打ち合わせ や役割分担が効果的に行われるよう指 導する。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「ホームルーム活動や生徒会活動(各種委員会や学校 行事等)に、生徒が主体的に参加していると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない (生徒)①+②の割合(R5 90%、R4 88%、R3 89%) (教員)①+②の割合(R5 85%、R4 90%、R3 89%) 4:90%以上、3:85%以上、2:80%以上、1:80%未満 生徒と教員の指標で総合的に評価する。
	生徒課	挨拶をはじめとしたコミュニケーションス キルを高め、好ましい人間関係を形成す る能力の向上を図る。	生活委員会や生徒会執行部を支援し、生 徒主体のあいさつ運動の実現を目指す。 教員が率先して挨拶を日々励行すると ともに、日々の声がけにより、礼儀などの 社会で生かせる基本的なコミュニケーシ ョン力の向上を図る。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「笠岡高校の生徒は、学校内や地域で、積極的に挨拶が できていると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(R5 68%、R4 64%、R3 64%) 4:80%以上、3:70%以上、2:60%以上、1:60%未満 (教員)「笠岡高校は、積極的に挨拶をするよう指導ができてい ると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(R5 45%、R4 66%、R3 43%) 4:80%以上、3:70%以上、2:60%以上、1:60%未満 生徒と教員の指標で総合的に評価する。